

令和7年

市長新年挨拶

## 新年を迎えて

明けましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年12月に行われました第20回苫小牧市長選挙の結果を受けて、市政を担うこととなりました。市民の皆さまから寄せられた期待にしっかりとお応えできるよう、常に市民の皆さまの声に耳を傾け、全力でふるさと苫小牧の市政運営に当たってまいります。

昨年は、パリ2024オリンピックスケートボード女子パークにおいて、ひらきこな開心那選手が2大会連続となる銀メダルを獲得され、市民に大きな感動を与えていただきました。

全国で最初にスポーツ都市宣言を行ったまちとして、大変誇らしいことであり、本市のスポーツ史上に新たな歴史を刻む出来事となりました。

開選手や関係者の皆さまに敬意を表するとともに、更なるご活躍を期待しております。

また、昨年は「子育て世代に手厚いまち」の実現に向け、子どもの医療助成の大幅な年齢拡大や産後ケア事業の充実、教育・保育施設の副食費無償化の拡大、新中学生への制服等購入助成の実施のほか、母子保健・児童福祉の両機能が一体的に相談支援を行う機関として「こども家庭支援センター」を設置し、切れ目のない相談体制を構築するなど、さまざまな取り組みを展開しております。

今後も、これらの子ども・子育て支援施策の更なる充実を図りながら、子どもを取り巻く環境整備に努めてまいります。

近年、地球規模での温暖化対策が求められる中、本市が2023年11月に脱炭素先行地域に選定されたことは、2050年のゼロカーボンシティ実現に向け、大きな推進力になるものと考えております。

これまでも地域の産学官が連携しながらさまざまな取り組みを実施してきましたが、引き続き、本市の事例が全国のモデルケースとなるよう、積極的にゼロカーボンの取り組みを進めてまいります。